

J-20 戦闘機の配備と南方戦区空軍

漢和防務評論 20160801 (抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

近年来、中国雲南省、広西省の防空システムが大々的に強化されています。KDR 誌は、中国空軍の主要な意図は、三峡ダムをインド空軍及びベトナム空軍の攻撃から守るためであると述べています。したがってこの地区に新型戦闘機 J-10 及び多数の HQ-12 型地対空ミサイルが優先配備されています。J-20 ステルス機は現在開発中ですが、J-10A の初期配備方式から判断すると、J-20 が最初に配備される基地は雲南省の雲南驛基地ではないかと推測されます。

KDR 平可夫特電：

KDR は中国雲南省雲南驛軍用飛行場の改修状況に特に注目している。この飛行場は相当老朽化しており、冷戦時代には J-6 戦闘機が配備されていた。国道からの距離は近い。この飛行場は 2014 年から大規模改修が開始され、現在は中国空軍航空兵第 44 師団に属する J-10 及び J-7 戦闘機が配備されている。

通常、1 個航空兵師団は 2 つの軍用飛行場を有する。第 44 師団は、現在蒙自及び陸良に駐屯している。後者（陸良）には、最初に J-10A 戦闘機部隊が優先して配備された。当時この地区に J-10A が優先配備された理由は、この地区が沿海地区から遠く、日、米、台湾軍による無線及びレーダー偵察を受け難く、新型戦闘機の換装訓練に適していたからである。同時に生産地の成都第 132 工場に最も近く、新型機への換装、機体の修理に便利だったからである。

極めて注目すべきことは、雲南驛軍用飛行場の改修状況である。サッカー場が併設されている（蒙自及び陸良基地にはサッカー場がなく、パイロットの体育訓練はどこで行うのか？はつきりしない）。燃料タンク地区にはバスケットボールコートがある。美しい司令部の建物、パイロット宿舎及び大型弾薬庫並びに 17 個の弾薬倉庫は、滑走路地区から 1.4 km 離れている。軍用燃料タンクは 5 個もあり、3 個が大型で、2 個は小型である。陸良基地には、6 個の小型燃料タンクがある。弾薬倉庫は 12 個ある。滑走路長は 3000 m である。67 km 離れた曲靖に HQ-12 型地対空ミサイル大隊が展開している。これと同時に尋甸にも HQ-12 が展開している。さらに 2013 年には雲南驛軍用飛行場から 2.8 km の場

所に HQ-12 大隊の陣地が完成した。

雲南駐軍用飛行場の大型整備用格納庫は、2016 年 2 月、未完成である。今後引き続き建設されるかどうか注目する必要がある。この飛行場は現在、訓練用に使われているようだ。したがって J-10A と J-7 が混在している。もし J-20 への換装方式が J-10A と同じならば、まず最初に第 44 師団に装備されるのか？雲南駐軍用飛行場の動向には特に注目しなければならない。

近年来、雲南省、広西省の防空システムが大々的に強化されている。本誌はすでにこの動向を報道しているが、中国空軍の主要な意図は、当然三峡ダムをインド空軍及びベトナム空軍の攻撃から守るためである。したがってこの地区の第一線に配備されるのは、新型戦闘機及び多数の HQ-12 型地对空ミサイルということになる。

広西省方面では、航空兵第 42 師団は、従来“最も貧弱な部隊”と言われてきた。新型戦闘機に換装されたことはなく、このような部隊は、中国空軍内でも少ない。しかし 2012 年から、航空兵第 2 師団副師団長の王少華大佐が南寧基地副司令に就任した。この人は大隊長時代、中国の軍事メディアに最も頻繁に出てきた人だ。SU-27 パイロット出身である。

2013 年、広西省白色飛行場は J-10 の配備を開始した。ここには 28 個ではなく、30 個の格納庫が建設された。1 個団の定数は通常 J-10 は 28 機である。2 機分の違いは何か？同団がすでに旅団に昇格したのか？ここは以前航空兵第 42 師団に隷属していた。もし編制に変化がなければ、航空兵第 42 師団が第 3 世代戦闘機を受領したことになる。師団から旅団に改編された大型戦闘爆撃機部隊は、機数が 4 機から 6 機増えて総数 30 機となる。

軍区改革ののち、44 師団も 42 師団も南部戦区空軍に属し、戦力強化の程度は、画期的といえる。

2013 年には柳州飛行場も同時に換装され 30 個の格納庫が建設された。これは旅団編制になる可能性が高い。42 師団は、従来第 124 及び 125 連隊を隷属していた。基地の建設状況からみると、現在 124 及び 125 連隊を J-10A に換装する可能性がある。このことから“最も貧弱”な師団が“中程度”の師団に変化したといえる。桂林の航空兵第 2 師団は 2 番目に J-10A を装備した部隊である。このように見ると、広西省内では、3 個連隊（旅団）の J-10A が配備されたことになる。

以上